

甲斐市議会 決算審査特別委員会 会議録

1. 開催日時 令和7年10月24日

2. 招集場所 甲斐市役所委員会室A

出席委員（15名）

委員長	内藤久歳君	副委員長	加藤敬徳君
	山本英君		依田那津希君
	山坂賢太君		若尾彰子君
	安倍健治君		保坂康君
	樋口孝之君		谷口和男君
	清水和弘君		金丸幸司君
	滝川美幸君		小澤重則君
	藤原正夫君		

欠席委員（2名）

金丸寛君	松井豊君
------	------

傍聴議員（1名）

議長 秋山照雄君

職務のために出席した者の職氏名

議会事務局長	中澤一昭	書記	小林久美
書記	深澤隼人	書記	圓谷孝宏

内容

- 1 令和8年度予算編成に向けての要望について
- 2 その他

開会 午後 2時29分

○書記（小林久美君） ご参集大変お疲れさまです。

ただいまから決算審査特別委員会を始めさせていただきます。

本日の委員会は、初めに委員長より挨拶をいただきまして、委員長の進行により進めてまいりますので、よろしくお願いいたします。

それでは、次第の2、委員長挨拶、内藤委員長、よろしくお願いいたします。

○委員長（内藤久歳君） 先ほどから職場体験の北中の5名の皆さん、本当にご苦労さまでした。2日間でしたけれども、非常に皆さんよく学んで、そして、今日の仕上げとしてすばらしい質問ができました。我々も非常に勉強になりましたので、また皆さんの指導を受けたいと思います。よろしくお願いいたします。ということでご苦労さまでした。

今日は、決算審査特別委員会の市への要望ということでご協議いただくわけですが、各常任委員会でご審議をいただいて結果が出ていると思います。委員各位の慎重審議をお願い申し上げまして、挨拶に代えさせていただきます。よろしくお願いいたします。

ただいまの出席委員は15名です。定足数に達しておりますので、これより決算審査特別委員会を開会いたします。

なお、金丸寛委員と松井委員は欠席の連絡がありましたので、報告をいたします。

なお、本日は傍聴を許可しておりますので、ご承知おきください。

○委員長（内藤久歳君） これより次第の3、内容に入ります。

（1）令和8年度予算編成に向けての要望については、各常任委員会において取りまとめをしていただき、タブレットに入れてあります要望書（案）のとおりであります。

なお、1ページの前文につきましては、各自確認をお願いいたします。

それでは、総務常任副委員長より順次ご報告をお願いいたします。その後、協議していただきたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

初めに、若尾総務常任副委員長、お願いいたします。

若尾副委員長。

○総務常任副委員長（若尾彰子君） それでは、総務常任委員会で取りまとめました要望事項

について、朗読をもって報告に代えさせていただきます。

庁内DXの推進について。

デジタル技術を活用して行政サービスの向上や業務効率化を図る取組は、多様化する住民ニーズへの対応、職員の働き方改革などを目的に全庁的・横断的に推進する必要があります。

また、業務のペーパーレス化推進により、コストの削減をはじめ、文書検索や情報共有の簡易化による業務効率の向上や、重要書類の紛失や漏えいを防ぐセキュリティの強化、また、事務室内の有効利用やテレワーク等働き方の多様化にもつながることが期待されます。

甲斐市DXアクションプランに基づくデジタル化事業を政策戦略課の主導により積極的に展開できるよう十分な予算を確保し、市民生活の質の向上、地域社会の発展、安全確保、教育機会の拡充の推進を要望いたします。

以上でございます。よろしくお願いいたします。

○委員長（内藤久歳君） ありがとうございます。

次に、清水厚生文教常任委員長、お願いいたします。

清水委員長。

○厚生文教常任委員長（清水和弘君） それでは、厚生文教常任委員会で取りまとめました要望事項について、朗読をもって報告に代えさせていただきます。

公立保育園のICT化促進について。

保育士の事務作業負担を軽減し、子供と向き合う時間を増やすことで、より質の高い保育環境を整備し、また、保護者との円滑な情報共有により連携強化を図ることを目的に、保育園のICT化推進事業が本市においても進められています。事業において、一定の効果は見られるものの、職員数に見合った端末がないため作業ができる職員に限られてしまい、非効率になってしまう状況があります。

ICTのメリットを最大限に生かすには、職員数に応じた端末の確保が必要であります。令和8年度予算において速やかにICT環境整備が促進することを要望いたします。

以上でございます。よろしくお願いいたします。

○委員長（内藤久歳君） ありがとうございます。

最後に、金丸幸司まちづくり環境常任委員長、お願いいたします。

金丸委員長。

○まちづくり環境常任委員長（金丸幸司君） それでは、まちづくり環境常任委員会で取りまとめました要望事項について、朗読をもって報告に代えさせていただきます。

道水路の小改良・小補修工事の実施強化について。

近年、気候変動の影響等により、自然災害は激甚化・頻発化しており、本市においても昨年、想定を超える豪雨により甚大な被害も発生しました。全国的に進む社会インフラの老朽化問題への対応はもとより、自然災害から市民の生命、財産、暮らしを守るため、社会の重要な機能を維持する必要があります。

市内においても舗装路面や区画線等の劣化、また、生活用水路の劣化箇所多く見受けられ、地域の実情に応じた、きめ細やかで迅速な対応を強力に推進することが重要であります。

自治会から要望される小規模な道水路改修は、限られた予算の中で行うため、要望に沿えずに積み残しとなっている工事があります。自治会要望に対し、具体的な計画を立て、計画に沿って工事を施し、確実に積み残し工事の削減を図るよう、大幅な予算増額を強く要望いたします。

以上でございます。よろしく願いいたします。

○委員長（内藤久歳君） ありがとうございます。

以上で報告が終わりました。

質疑及び意見等がありましたらお願いいたします。

よろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（内藤久歳君） それでは、令和8年度予算編成に向けての要望についてお諮りいたします。要望書に記載のとおり提出することにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（内藤久歳君） ご異議なしと認めます。

よって、令和8年度予算編成に向けての要望については、要望書に記載のとおり決定いたしました。

なお、市長への要望書提出については、委員長にご一任させていただきたいと思っております。これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（内藤久歳君） それでは、そのようにさせていただきます。

以上で、令和8年度予算編成に向けての要望についてを終わります。

次に、（2）その他に入ります。

委員の皆さんから何かありましたらお願いいたします。

藤原委員。

○委員（藤原正夫君） ありがとうございます。

各常任委員会、決まりで1問ということでしたけれども、それはそれでもういいんですけども、私たちのまちづくりのところにもかなり2問が残りまして、最後には起立採決という形になりました。ほかの委員会でも2つぐらいは出ていたと思います。

そこで、決まりはもう一問一答でこれで決まったからいいんですけども、ぜひ、委員長、その中で市長に届けるときに、各委員会からもこんなこともありましたよということを補足して、その中でぜひ頭の中に置いておいてくださいと、ちょっとそんなことを言ってもらえば私たち有り難いかなと、こんなふう思うわけです。あくまでも私の意見ですけども、お願いします。

○委員長（内藤久歳君） 検討させていただきます。

次に、事務局よりありましたらお願いいたします。

〔「ありません」と呼ぶ者あり〕

○委員長（内藤久歳君） ないようですので、以上でその他を終わります。

以上で、本日の日程は全て終了いたしました。

これをもちまして、決算審査特別委員会を閉会いたします。

ご苦労さまでした。

閉会 午後 2時37分